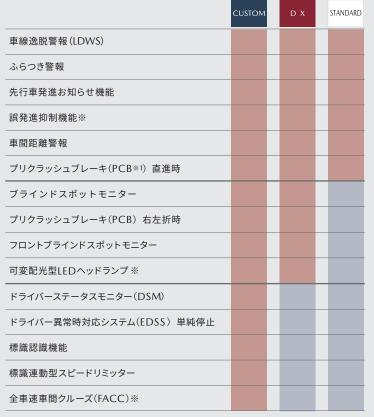
全3種のグレード設定

お客様ごとのニーズや運行形態に合わせ、最適な運転支援機能を提供するため、検知装置の組み合わせにより、全3種で先進運転支援装置をグレード化。全車「スタンダード」が標準となり、追加装着したい装置に即して上位グレードをお選びください。



※: 装備は車型により設定が異なります。詳しくは主要装備一覧表をご参照ください。 ※1:PCBはいすゞ自動車(株)の登録商標です。(登録第5118226号)

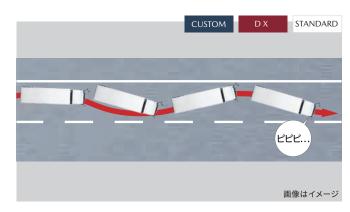


ふらつき等による、接触事故防止に貢献

車線逸脱警報 (LDWS)

走行中、カメラが車線を認識し、車両が車線から逸脱したとシステムが判断した場合、警報音で注意を喚起。接触事故の防止に貢献します。

*自車速60km/h以上で作動します。



ふらつきや危険なハンドル操作を検知・警報

ふらつき警報

車線内でのふらつきをカメラで検知し、警告表示と警報でドライバー に注意を喚起します。

*自車速70km/h以上で作動します。

●車線逸脱警報(LDWS)は、ドライバーの安全運転を支援するシステムです。機能には限界があり、路面や天候、運転操作等の条件によっては作動しない場合があります。機能を過信せずにつねに安全運転を心がけてください。詳しくは最寄りの販売会社営業担当者にお問い合わせください。



信号待ちなどの出遅れ防止に

先行車発進お知らせ機能

先行車に追従して停止後、先行車が発進しても自車の発進操作が なかった場合、警報音で注意を喚起。再発進時の出遅れ防止に 貢献します。



踏み間違え事故防止に貢献

誤発進抑制機能(ISIM車)

発進時、前方障害物を検知し必要以上にアクセルを踏み込んだ際に、エンジン出力を制限。アクセル/ブレーキ踏み間違え事故防止に貢献します。



積荷にもやさしい、早めの警報

車間距離警報

設定した車間距離内に車両が入ると、早めの警報でドライバーに 早期の危険回避を促し、急ブレーキによる荷傷み・荷崩れ、追突事 故の防止に貢献します。

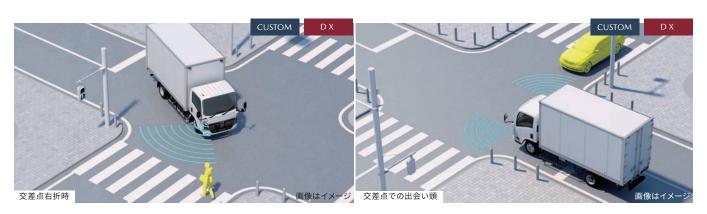


夜でも横断中の歩行者を検知

プリクラッシュブレーキ (衝突回避支援/衝突被害軽減)

衝突の危険性が高まると警報および緊急ブレーキで衝突回避や被害 軽減に貢献。昼夜を問わず、車両、歩行者、自転車を鋭く検知します。

*自車速度が約10km/h以上で走行中、先行車両との相対速度が約50km/h以内で衝突回避を支援。相対速度が約50km/hを超える場合は衝突被害を軽減します。また、道路状況、天候状態、運転操作等によっては作動しない場合があります。



車両前方死角エリアの物体を検知し警告

ブラインドスポットモニター (交差点警報・出会い頭警報)

ヘッドランプ上部2箇所に広角のミリ波レーダーを配し死角エリアの自動車/バイク/自転車/歩行者などを検知してドライバーに警報と ピラー部の警告灯で警告。交差点での右左折時や出会い頭などの事故抑制に貢献します。

- *【交差点右左折時】自車速:約4~22km/h 警報対象速度:約5~20km/h 警報対象:歩行者/自転車で作動します。
- *【交差点での出会い頭】自車速:約0~10km/h 警報対象速度:約20~60km/h 警報対象:自動車/バイクで作動します。
- ●誤発進抑制機能、車間距離警報、プリクラッシュブレーキ、ブラインドスポットモニターは、ドライバーの安全運転を支援するシステムです。機能には限界があり、路面や天候、運転操作等の条件によっては作動しない場合があります。機能を過信せずにつねに安全運転を心がけてください。 詳しくは最寄りの販売会社営業担当者にお問い合わせください。



右左折時も緊急ブレーキ

プリクラッシュブレーキ (右左折時)

交差点右左折時に、対向歩行者と衝突の可能性があると判断した場合、警報および緊急ブレーキで衝突回避や被害軽減に貢献します。

*ウインカー作動時、自車速10~20km/hで作動します。



ハイビームを自動で制御し夜間の視認性向上

可変配光型LEDヘッドランプ(インデペサス車)

ハイビーム走行時、前方をカメラで検知し、先行車や対向車に光が当たる箇所のみを自動で遮光します。さらに自車速に応じ自動で光を集光したり(高速時)拡散したり(低速時)、ハンドル操作に応じ照射方向も自動で制御します。夜間の視認性向上、安全運行に貢献します。

*自車速15km/h以上で作動します。





車両直前の死角エリアの物体を検知し警告

フロントブラインドスポットモニター

ヘッドランプ上部とキャブ前面中央のミリ波レーダーが、車両直前の歩行者や自転車を検知。自車と近づいた場合、メーターディスプレイ表示で注意を喚起。衝突の可能性があると判断した場合、メーターディスプレイ表示に加え、警報で注意を促します。

*自車速10 km/h以下 警報対象速度:歩行者 $3 \sim 5 \text{km/h}$ 自転車 $0 \sim 10 \text{km/h}$ で作動します。



脇見/居眠り運転の抑制に貢献

ドライバーステータスモニター(DSM)

ドライバーの脇見/開眼/運転姿勢の状態をインパネ中央に搭載されたカメラでモニターし、運転への注意不足を検知すると警報と音声およびメーターディスプレイで警告を発し、注意喚起。強い眠気を感じていると判断した場合、エアコンから冷風を出して注意を促します。脇見/居眠り運転等の事故抑制に貢献します。

*自車速約30km/h以上または60km/h以上で作動します。

ドライバー異常時対応システム

(EDSS:Emergency Driving Stop System)

ドライバーに急病などの異常が発生した際、EDSSスイッチを押すことで車両を減速・停止させることで、衝突事故やその被害の軽減に貢献します。車外へは制動灯とハザードの点滅とホーンにより、注意喚起を行ないます。EDSSスイッチが押されない場合でも、ドライバーステータスモニター(DSM)によるドライバーの異常検知により、システムが作動し、速度を徐々に落として停止させます。

●プリクラッシュブレーキ、フロントブラインドスポットモニター、ドライバーステータスモニター、ドライバー異常時対応システム、標識認識機能、全車速車間クルーズ、電子式車両姿勢制御システム「IESC」は、ドライバーの安全運転を支援するシステムです。機能には限界があり、路面や天候、運転操作等の条件によっては作動しない場合があります。機能を過信せずにつねに安全運転を心がけてください。詳しくは最寄りの販売会社営業担当者にお問い合わせください。



ドライバーの標識見落としを抑制

標識認識機能

カメラが交通標識(制限速度・車両進入禁止・一時停止・追い越し禁止・高さ制限)を認識し、メーター部に表示。ドライバーの標識 見落としを抑制します。

速度超過による事故抑制に貢献

標識連動型スピードリミッター

スピードリミッターの上限速度を、認識した制限速度標識に合わせた速度へ、スイッチひとつで容易に設定変更できます。



停止/発進まで含め、全車速域に対応

全車速車間クルーズ (ISIM車)

設定した車間距離を維持するように、加速/減速のみならず、停止/発進まで含めた全車速域での制御を行なうことで、ドライバーの疲労軽減、安全運行に貢献します。

その他の安全装置



自動作動/自動解除機能搭載

電動パーキングブレーキ※

駐車ブレーキのかけ忘れや解除忘れ防止のため、パーキングブレーキの自動作動/自動解除機能を搭載。全車速車間クルーズやEDSSなどの機能とも連携します。

*自動作動機能を日常のパーキングブレーキ操作のかわりに使用しないでください。

積荷や架装の妨げなく後方確認

バックカメラ&電子インナーミラー

バックカメラの映像をルームミラー型の電子インナーミラーに表示。 積荷や架装の妨げなく後方確認が可能です。

横滑りや横転等の危険回避に貢献

電子式車両姿勢制御システム「IESC*」

不安定な車両姿勢とシステムが判断した場合、警報と共にエンジン・ ブレーキを制御し車両姿勢を制御。横滑りや横転等の危険回避に 貢献します。

ブレーキペダルを踏み続けることなく制動力を保持

オートブレーキホールド

信号待ち等での停車中、ドライバーがブレーキペダルから足を離しても、ブレーキ力を保持。ブレーキペダルを踏み続ける必要がないため、疲労軽減に貢献します。

*ISIM車はシフトレバー位置N/Dで、MT車はシフトレバー位置Nで作動します。

急ブレーキ時の追突事故抑制に貢献

緊急ブレーキシグナル

急ブレーキによって急激に減速した場合、ハザードランプを高速点滅させて後続車に注意をいち早く知らせ、追突事故を抑制します。

*自車速50km/h以上で作動します。

サスペンション



軽量化とともに操縦安定性・乗り心地・小回り性を両立 軽量インデペンデント・サスペンション※



大切な積荷と走りをしっかり支える リーフリジッド・サスペンション(リヤ)



効果的な振動吸収を図る 液体封入式キャブサスペンション※

※1:IESCはいすゞ自動車(株)の登録商標です。(登録第4899516号)

※:装備は車型により設定が異なります。詳しくは主要装備一覧表をご参照ください。*写真は開発中のものです。実際の仕様とは異なる場合があります。